

年月日

20
06
26

一
ジ

04

N
O.
.

プラットフォーマーに期待

中国では2018年頃から米中貿易摩擦やデレバレッジ（過剰債務の削減）の推進などによる内外環境の変化で、ベンチマーク投資が低迷し、「資金の寒冬（資金調達が厳しい状況）」と呼ばれる本の寒冬（資金調達が厳しい状況）」と呼んでいたものの、1件当たりの金額が増加し、評価の高

ようになつた。
その状況を如実に語つ
てゐるのが、19年のベン
チャー投資実績である。　
同年の投資件数は約42
い企業に対しても資金が集
中する構図に変わつてい
る。16年、17年のベンチ
ャー投資ブームの時に比
べると、投資側はより慎

グローバル 眼の 世界

べると、投資側はより慎重な姿勢で出資先を選ぶ動きも見て取れる。また、件数ベースで投資分野を見ると、ここ数年注目を浴びている成長分野、すなわち企業向けサービス、医療・ヘルスケア、電子商取引（EC）・リテール、フィンテック、スマート製造、人工

中国のベンチャー投資 鈍化



知能(AI)・ハードウエア、オンライン教育が資金調達しやすい分野となっている。こうした中で、大手プラットフォーマーのアリババとテンセントは、収益基盤の維持・強化と共に、年間の投資実績を見ると、投資を積極的な投資を実行している。両社のコア事業は医療で、高い投資を実行している。両社のコア事業は医療で、高い投資を実行している。

まつており、両社 国政府の政策推進の追い
• ヘルスケア産業 風に乗って、新たな成長
成長性を見込んだ 機会を発掘しようとする
今後も続けると思 思惑が一目瞭然だ。

ニューヨーク証券取引所への上場に続き、昨年11月26日に香港証券取引所にも上場。110億ドルの資金到達を果たした。テンセントも香港証券取引所に上場している（ブルームバーグ）両社とも強い危機感を抱きながら、新たな事業の柱を探っているが、最近では、とりわけ、ヘルスケア関連のベンチャーアジア企業に高い関心を示して、スケアのオンラインサービスを手がけるベンチャーアリババも17年からヘルスケアに注目しているほか、アリババも17年からヘル

コシステムの拡充を目的に、国内外を高成長の期待される領域に集中する傾向が強まっている。

ズが高まっており、両社は医療・ヘルスケア産業の高い成長性を見込んだ投資を今後も続けると思惑が一目瞭然だ。国政府の政策推進の追い風に乗って、新たな成長機会を発掘しようとする

伊藤忠総研
産業調査センター

趙璋琳

無断転載・複写禁止(株)日刊工業新聞社